

平成19年度 弥富中キャリア教育に関わる授業プログラム

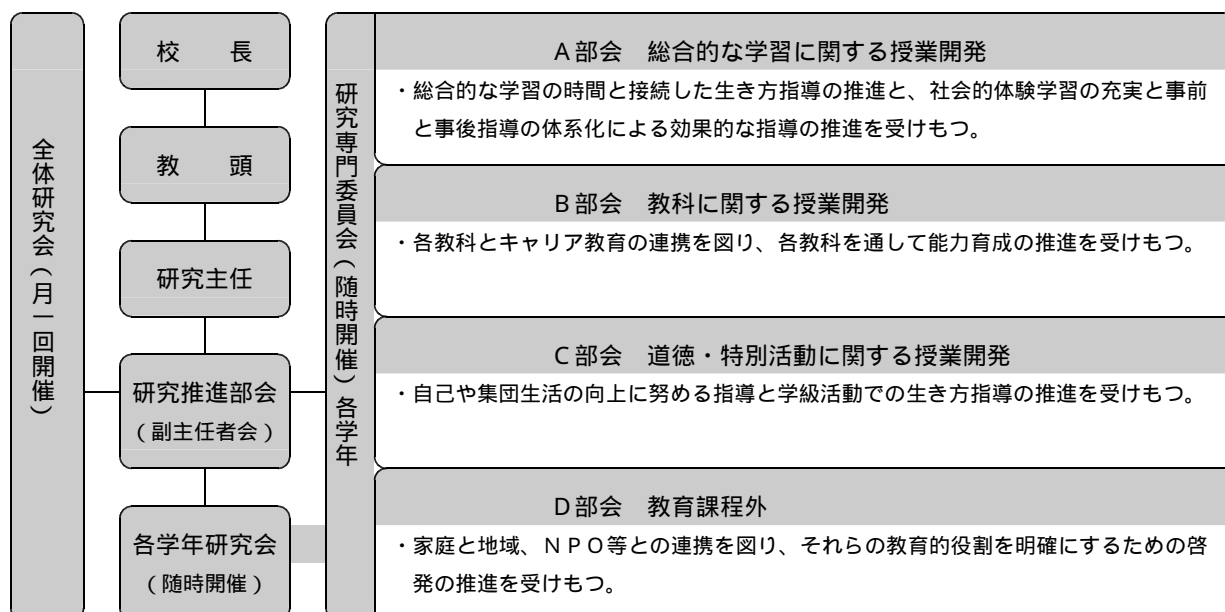
キャリア教育を進めるために

1 研究のねらい

昨年度からの「キャリア教育」(2年継続)の「研究主題」と「研究の目標」を次のように設定した。

研究主題	「夢や希望をもって、自らの生き方を考え、自らの進路を切り開く生徒」の育成をめざして —— 連携と体験を重視した取り組み (キャリア教育)を通して ——
研究の目標	教育課程の見直しと授業開発、家庭・地域やNPO等との連携を通して、夢や希望を持ち、自らの生き方を考え、自己の可能性を伸ばそうとする生徒の育成を究明する。

2 研究組織 研究推進部会の下に「専門委員会」として、A～Dの4部会を置いて、研究を進めた。



研究専門委員会

全体のとりまとめ 高瀬・松島

		1 年	2 年	3 年
高瀬	A部会 総合的な学習に関する授業開発	A部会代表 松島		
	・ 宿泊行事に絡めた具体的実践 ・ 生き方指導に絡めた具体的実践	村 瀬・佐藤里 梅 村	松 島 山 田	百 々 横 田
	B部会 教科に関する授業開発	B部会代表 豊田		
	・ 各教科における能力育成	高 橋・児 玉 豊 田・角 田	野 田・門脇 赤 穂・佐藤周	堀・高 津 加 藤
早川 武	C部会 道徳・特別活動に関する授業開発	C部会代表 清水		
	・ 自己や集団生活の向上に努める指導 ・ 学級活動での生き方指導 ・ 生徒会委員会での生活改善・ボランティア	五十川・服部恵 梶 原・安 井	小 澤 横 江 福 谷	清 水・服 部 安 田・大 崎
教頭	D部会 教育課程外での連携	D部会代表 西沢・吉次		
	・ 家庭と地域との連携、幼・小・中・高との連携	山 岸・寺 本	吉 次・山 本	西 沢・石 原

3 生徒につけたい力の設定

「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議が定めたキャリア教育の4領域能力と8つの能力」を下の表のように「計画し・関係し・行動する力」と3つの力にまとめ、この力を生徒につけさせれば、キャリア教育における4つの能力が育まれると考えた。

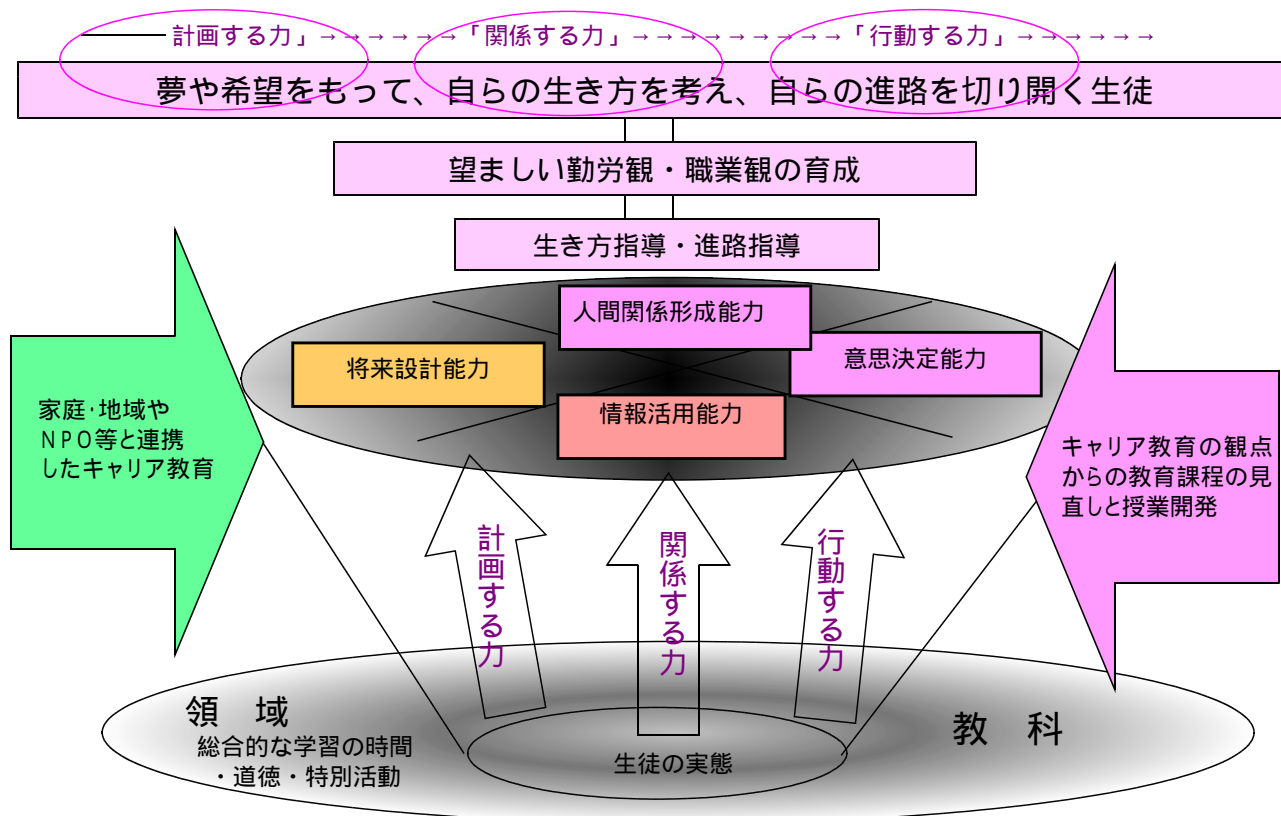
領域	領域説明	新たに設定した力	能力説明
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	計画する力	役割把握・認識能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及び、その多様性を理解し、幅広く情報を活用して自己の進路や生き方の選択に生かす。		計画実行能力
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して取り組む。	関係する力	情報収集・探索能力
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。		職業理解能力
		行動する力	自他の理解能力
			コミュニケーション能力
		行動する力	選択能力
			課題解決能力

(国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」から一部改訂)

この「計画し・関係し・行動する力」をつけさせるために、二点に重点を絞って、キャリア教育のプログラムを見直してきた。1つは「家庭・地域やNPO等と連携したキャリア教育」であり、もう一つは、「キャリア教育の観点からの教育課程の見直しと授業開発」である。

前者は、NPO等と連携した「生き方講座やマナー講座」と、地域で活躍している市民講師による「夢の実現に向けた講座」である。どの講座も、生徒にとって「自分の生き方」を見つめ直す貴重な機会としたい。

後者は、「総合的な学習の時間」の授業プログラム開発である。1年生は「職場訪問」(半日)、2年生は「職場体験」(事前訪問を半日、体験を1日、事後訪問を半日)という日程で行われる。この二つの作用により、生徒にとって望ましい変容をもたらすように、50時間程度の授業プログラムの開発を試みた。



4 進路指導・各領域との関連

(1) 進路指導との関連

キャリア教育は、進路指導や各領域における指導と横断的に関係している。進路指導の3年間の系統を載せた。

また、各領域における指導もキャリア教育を支える指導となる。「総合的な学習の時間」はもちろんのこと、教科指導・道徳・特別活動・そして教育課程外といった各領域での指導も必要である。

(2) 教科との関連

教科の中で、国語科を例にあげると、その教科指導の中でも、特に必要な情報を収集したり、検索したりする「情報収集・探索能力」、多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく「コミュニケーション能力」などに重点を置いて指導していく必要がある。言語を駆使して、情報を発信・受信する必要性が、ここ数年でますます求められてきた。

(3) 道徳・特別活動との関連

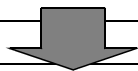
「道徳」においては、自分と他者との関わりに重点をおいて、コミュニケーション能力を育んできた。特別活動では、とくに生徒の手による「委員会活動の発表会」に力を入れた。金曜日の生徒集会では、全部の委員会が体育館で、実物投影機やプロジェクター、コンピュータを使って、聞き手を飽きさせない、説得力や内容のある発表を行った。これは本校創立以来続いている伝統の集会である。

(4) 教育課程外との関連

特に、家庭と地域との連携に力をおいて1年の「職場訪問」や2年の「職場体験」を計画した。生徒の意欲を引き出そうと「生き方講座」の1・2回目はNPOと連携して講座を設定した。また、3回目の「マナー講座」や4回目の、5回目の「生き方講座」は、地元で活躍した方を招いた。保護者の方にも関心を示していただくように、ワークシートに「保護者の方からの応援メッセージ」と題して、言葉をいただいた。

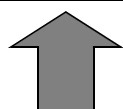
進路指導目標

1年	将来への関心	2年	将来を考える		将来を見定める
・中学校の学習、将来の生き方 ・生き方を考えるきっかけ作り 「市民講師の話を聞く会」 ・働く人に学ぶ「職場訪問」 ・自分を知ろう ・進路計画を立てよう		・将来の生き方と学習 ・生き方を考えるきっかけ作り 「市民講師の話を聞く会」 ・働く人に学ぶ「職場体験」 ・生き方を考える ・学ぶための制度と機会 ・自分の適性と自分の進路		・進路を考える 「上級学校訪問」 ・生き方を考えるきっかけ作り 「市民講師の話を聞く会」 ・実りのある生活と学習 ・進路選択にそなえて 「生き方を考える会」 ・心豊かに生きる ・進路の選択・卒業期を迎えて	



各領域における指導内容			
教科・総合的な学習の時間	道徳	特別活動	教育課程外
・各教科 ・総合的な学習の時間	・自分自身に関すること ・他者との関わり ・集団や社会との関わり ・事前との関わり	・学級活動 ・生徒会活動 ・学校行事	・家庭・地域との連携 ・幼、小、中、高との連携 ・関係諸機関との連携 ・教育相談室との連携
・進路選択への意識や社会性を伸ばす基本的な場。 ・職業等に対する進路情報の多くを学ぶ場。	よりよい生き方について、多様な側面から考えることにより、価値観を鍛え、望ましい進路選択の態度を養う。	一人一人が存在感を持ち、肯定的な人間関係に立った雰囲気のある学級づくりをする。	「開かれた学校」を意識した地域社会との積極的な連携を図る。

・授業そのものが、進路指導の啓発的な経験の機会 教育活動を通じての学び方を知る。 将来の社会生活に必要な基礎知識と技能を習得する。 自己の能力、適性の理解と長所の伸張を図る。 体験から学ぶ。 わかる授業、生徒が主役の授業、成就感の味わえる授業の実践をする。	自己や他者の多様な価値にふれ、肯定的な人間関係を築く。 望ましい勤労観・職業観を養うため、様々な考えや社会生活への適応に資する能力を養う。 勤労の貴さや社会への奉仕の気持ちを深め、進んで社会発展に尽くす力を育む。	地域社会との連携や啓発的な経験に関わる体験学習を主体的に展開する特別活動の実施をする。 学級活動における進路学習の工夫によるガイダンス機能の充実を図る。	積極的な適応指導を展開するため、多様な場面での幼、小、中、高の連携を図る。 進路指導の充実を図る。 適切な教育相談の積み重ねによる、スクールカウンセリングの充実。 生徒・保護者のニーズにあった進路指導の充実を図る。
--	---	--	---



キャリア教育と教科の関連表（○は育成項目）

能力領域	つきたい能力		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	体育	技術	英語
将来設計能力	計画する力	役割把握認識能力		○					○	○		
		計画実行能力						○				
情報活用能力	関係する力	情報収集・探索能力	○	○	○	○		○			○	
		職業理解能力									○	
		自他の理解能力	○				○	○	○			○
人間関係形成能力	行動する力	コミュニケーション能力	○				○	○	○			○
		選択能力		○							○	
		課題解決能力			○	○			○	○		

キャリア教育としての取り組み

1 総合的な学習の時間を中心とした各学年の計画（平成18年度～19年度）

おもな指導内容			
	1年	2年	3年
	地域社会に生きる	地域文化とわたし	国際社会とわたし
一学期	○「オリエンテーション合宿」 ・中学校生活のルールを知る。 ・仲間のよさを見つける。	○「野外体験学習」 ・自然から学ぶ ・協力することのよさを知る。	○「修学旅行」 ・首都東京と世界とのつながりを知る。
9月	○「生き方講座」 - 働くとは - （全体講座） <u>NPOと連携して講師依頼</u> ・プロの生き方から学ぶ。 職業とは何かを知る。 あきらめずに夢をもつ。		
10月		○「生き方講座」（6講座） ・プロの生き方から学ぶ。 10/17 <u>NPOと連携して講師依頼</u>	○「生き方講座」（6講座） ・プロの生き方から学ぶ。 10/24 <u>NPOと連携して講師依頼</u>
	○「生き方講座」 - マナーの大切さ - （全体講座） ・マナーは相手のためにあることを知る。 10/26 <u>地域の方に講師依頼</u>		

11月	○「職場訪問学習」 11/15 ・働く目的と意義について知る。	○「職場体験学習」 11/8 ・事前訪問 自己紹介を兼ねて。 ・職場体験 主体的に体験する。 ・事後訪問 お礼と報告。	○「上級学校訪問」 ・夢に一步近づくために何を今すべきか考える。
	○「生き方講座」 - 将来の夢 - (全体講座) 11/28 ・夢に向かって生きることの大切さを知る。		
3学期	○「夢の実現講座」(全体講座) 地域の方に講師依頼 ・地元で活躍する人の話から自分の生き方を考える。		
	○「職場訪問学習発表会」 ・学んだことを共有する。	○「職場体験学習発表会」 ・学んだことを共有する。	○進路の選択・卒業期を迎えて ・自分の生き方を考える。
	○「福祉実践教室」地域の方と ・障害者との共生を考える。 ○「進路適性検査」 ・自分の適性と進路を考える。	○「進路適性検査」 ・自分の適性と進路を考える。	○「卒業式」 ・自分の進路へ一歩踏み出す。

(1) 総合的な学習の時間について

3年間の系統は、「地域社会に生きる」→「地域文化とわたし」→「国際社会とわたし」である。3年間で自分と他者の関係を大きく広げていきたい。その時間の中で、「自己の有用性」について考えさせていきたい。また、教科横断的な指導の中で、「課題解決学習」に取り組ませていきたい。

(2) 「生き方講座」 - プロの生き方 - 2年6講座 10月17日(水) ・3年6講座

アスクネットと連携して講師依頼をした。生徒は生き方に関するインパクトのある話を聞いて、自分の生き方を改めて見直したのではないだろうか。特に、6講座については、生徒に選択させて受講させた。

教室や家庭科室といった場所で、講師を間近に見ての講座では、中学生の心を揺さぶったのではないかと感じた。

(3) 「生き方講座」 - マナー講座 - (1年～3年 全体講座) 10月26日(金)

水田有美子氏と現役のトップモデルの2名に来校していただき、魅力ある生き方について受講した。学校内では知ることのできない、「社会でのマナー」は、その人の生き方の一つであることを実感し、大いにその後の職場訪問や職場体験により影響を与えた。

(4) 「生き方講座」 - 将来の夢 - (1年～3年 全体講座) 11月28日(水)

豊田自動織機k kラグビー部総合監督 山田耕二氏を迎えて、夢の実現には、どう生きるべきかという演題で講演される予定である。

(5) 「夢の実現講座」 (1年～3年 全体講座) 3学期

地元で活躍される方を講師に招き、これまでの成功例・失敗例などをお話いただき、地域で活躍された話は、生徒にとって、地域と自分を見つめ直す絶好の機会となると思われる。これも大いに楽しみにしている。

(6) 進路適性検査 3学期

1年生でも実施したが、職場体験での仕事に対する考え方も大切にし、また、多くの講座から感じたことも合わせ、進路適性検査を受ける。客観的にとらえた適性検査の結果をもとに、これからの進路を新たに考えさせる。

実際の職場体験学習から(2年を例にあげて)

2年生の「職場体験学習」の中から、大切なことや指導の工夫の一部を紹介する。

1 ねらい 自ら計画し、人と関係し、行動することを通して、望ましい勤労観・職業観を育ませる。

地域にある事業所で、実際に働き、働くことの実感と働く人々の思いや工夫を共有することにより、働くことに対する関心や理解を深め、望ましい勤労観・職業観の形成や進路選択の能力の基礎を身につけさせる。

また、この実践を通して、自分自身を知り、計画立案やその実現を図る中で、キャリアに関する能力を育てる機会とする。そして、職業をさらに身近なものとして捉え、将来に向けて具体的な目標を立てさせる。

2 目 標

- (1) 職場体験学習を通して、自分や他者の適性や、よさについて考え、将来の進路選択に役立てる。
- (2) 身近な人々の仕事を体験することで、働くことの意義や職業に対する意識を高める。
- (3) テーマを設定し、実際に調べたり、体験したりすることにより、自ら行動し課題解決できるようにする。
- (4) 働く人と接し、コミュニケーションを図り、人との対応に対する態度や言葉遣いを身に付ける。

3 学習内容

- (1) 体験する職業の事前学習をする。
 - ・ 仕事の内容 ・ 勤務時間 ・ 必要な資格や免許 ・ 予想される苦勞 ・ 適性 など
- (2) 職場体験の課題(Myテーマ)を設定し、課題解決を図る。
 - ・ Myテーマにもとづいて、事前に学習したり、当日の質問をしたりして、課題解決する。
- (3) 事前訪問・当日の計画を立てて、実行する。
 - 事前訪問 ・ 履歴書をつくり、自己紹介や当日の日程の確認、持ち物等を聞く。
 - ・ 課題(テーマ)の解決に向けた質問を前もって手渡す。
 - 体験当日 ・ 課題(テーマ)解決に向けて努力する。
- (4) 各班の班長による全体会や分科会(学年テーマ班・事前準備班・プロの一言班)を開き、生徒の手による班活動を推進させ、自ら計画し、関係し、行動していく。
- (5) マナー(あいさつや言葉遣いなど)を考えて、実践する。
- (6) 体験したことをまとめ、発表する。
- (7) 進路適性検査をもとに、自分の適性を考える。

4 学習の流れ

(1) 学年集会でガイダンスを聞く。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 概略説明(職場体験学習の意義、日程など)を聞き、全体像をつかむ。・ 職種で希望をとり、50班をつくる。 1班2名～5名 |
|--|

(2) 総合の授業で学習する。(ワークシート活用)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 心構えをつくる。 ・ 班での役割分担を考える。 ・ 事業所調べをする。
(事業所名 職種 住所 担当者名 体験概要 略地図 班名簿 持ち物 服装など)・ 班のテーマとMyテーマを設定し、追究する方法を考える。
(テーマ設定の理由 テーマの追究の方法 事前調べ 当日の質問 テーマのまとめ方)・ 事前や当日、事後の活動内容を計画し、シミュレーションする。 |
|--|

(3) 班長の全体会を運営する。(班長50名)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 班会議の運営ができるように、事前に班長全体会を開き、1時間ごとの活動内容について理解する。・ 班員の協力により、班のテーマやMyテーマを追究し、発表できるように質問を考える。・ 事前訪問と体験当日、事後訪問についての活動内容を理解する。・ 事前訪問の打診や、調べたことを発表するまでの活動を生徒の手で進める。 |
|---|

(4) 班長による分科会を運営する。

- ・ 学年共通テーマ班（班長 6 名）は、働くことの意味や意義について、テーマを作成し、追究し、発表する。
- ・ 事前準備班（班長 10 名）は、事業所との対応の仕方について、劇化し、学年集会で発表する。
- ・ プロの一言班（班長 10 名）は、事業所で最も大切にしているプロの一言(モットー)を集め、発表する。

(5) 学級委員長会より「マナー向上月間」の提案をする。

- ・ 職場体験当日の前後 2 週間（合計一ヶ月）をマナー向上月間として、マナー向上に努めていく。

(6) 事前訪問をする。

- ・ 電話での打診・対応のしかたを理解し、電話（プリペイド携帯）で事前訪問の打診をする。（生徒）
- ・ 事前訪問計画書を作成し、打ち合わせの内容の確認をする。
- ・ 事前訪問後、学校へ戻り、報告書を作成し、体験当日の内容について確認する。

(7) 体験当日の活動をする。

- ・ 体験から学べることや自分が感じたことを大切にする。忘れないうちにメモする。
- ・ 事業所の人の話を聞いたり、質問をしたりして、班のテーマや My テーマを追究する。
- ・ 体験終了後、アンケートと報告用紙を作成する。

(8) 事後の学習をする。

- ・ 班のテーマや My テーマに基づいて、班のまとめをする。 ・ 礼状を作成する。
- ・ ミニ発表会 発表会を行う。（学年代表は全校集会で発表する。）
- ・ 文集づくり（各事業所へ寄付する予定。）

(9) 発表会をする。

- ・ 学年内発表 各教室（8 箇所）で発表を行い、代表する班を選出する。
- ・ 全校集会発表 書類選考して、学年代表を 2 つ決め、全校の集会で発表する。
学年共通テーマ班も「働く意味や意義」について、職場体験を総括的に発表する。

5 評価計画（職場体験学習を中心にして）

	活動内容	評価の観点（具体的な能力）	〔具体的な評価内容〕（評価方法）
1	職場体験学習のガイダンス	・ 計画実行能力……………（学習を見通す力）	職場体験学習への関心・意欲・態度 （ワークシートの記述）
2	班と My テーマを決定	・ 選択能力……………（選択する力）	主体的に考え、選択し決定する力 （ワークシートの記述）
3	希望職種の調査・決定	・ 選択能力……………（選択する力）	主体的に考え、選択し決定する力 （ワークシートの記述）
4	体験先の職業調べ	・ 課題解決能力……………（発見する力） ・ 情報収集・探索能力……………（追究する力）	職場体験への関心・意欲・態度 （ワークシートの記述） 資料収集・分析と再構成 （ワークシートの記述）
5	職業調べ ・ レポート形式で報告	・ 問題解決能力……（まとめる力・表現する力） ……………（総合的な思考・判断）	事実を見る力と自分の考えをもつ力 （レポートの内容）
6	当日の流れの作成 ・ あいさつ ・ 質問作成	・ 計画実行能力……（まとめる力・表現する力） ・ 役割把握・認識能力（自己の役割を果たす力） ・ 計画実行能力……………（発見する力）	情報をもとに体験の予定を立てる力 （ワークシートの記述） 自分の役割を果たす力 職業に基づいて質問を考える力 （ワークシートの記述）
7	職場体験学習当日	・ 職業理解能力……（職業を正しく認識する力）	学校で学ぶことと職業生活との関連を 考える力。 （ワークシートの記述）
	職場体験学習の報告	・ 選択能力……………（まとめる力・表現する力） ……………（総合的な思考・判断） ・ 情報収集・探索能力……………（追究する力）	事実を見る力と自分の考えをもつ力 （報告書の記述） 資料収集・分析と再構成 （報告書の記述）

8	職場体験学習発表会 ・B紙 新聞形式	・選択能力.....(まとめる力・表現する力)(総合的な思考力・判断力) ・自他の理解能力.....(互いに認め合う力) ・コミュニケーション能力 ...(コミュニケーション能力)	事実を見る力と自分の考えをもつ力 (B紙の内容) 表現力・理解力・創意工夫する力 (B紙の内容)
		・職業理解能力...(今しなければならぬことを認識する能力) ・問題解決能力...(自分の進路に生かす能力)	これからの生活に生かす力 (進路希望調査の内容) これからの進路に知識を生かす力 (進路希望調査の内容)

6 職場体験学習の活動計画(50時間)

本校は、この時期に「総合的な学習の時間」をまとめ取りしている。

月	回	日	曜	時間割	予 定	活 動
9月	1	25日	火	学活	・総合・体験学習のガイダンス。	・総合と体験学習の概要を聞く
	2	27日	木	総合	・職業調べ・履歴書作成	・希望職種で調べる。
	3	28日	金	総合	・職業調べ・履歴書作成	
10月	4	2日	火	学活	・職業調べ・履歴書作成	・決定した職種・事業所で調べる。
	5			総合	・職業調べ・履歴書完成	
	6	5日	金	総合	・事業所別集会1回目	・顔合わせ、班長選出、体験計画書作成する。
	7	9日	火	総合	・事業所別集会2回目	体験計画書作成 合格するまで。 班テーマ作成 Myテーマ作成 質問作成 事業所への行き方確認
	8	12日	金	学活	・事業所別集会3回目	
	9			総合	・事業所別集会4回目	・正式な体験生徒決定用紙と質問用紙 完成
	10	16日	火	総合	・学年集会 電話のかけ方 マナー向上週間	・電話のかけ方について理解する。 ・マナー向上週間について理解する。
10月	11	17日	水	総合	・生き方講座 プロの生き方 6講座	・仕事は汗と涙でできていることを知る。
	12			総合	・事前訪問打診	・携帯を使って打診する。
	13	19日	金	総合	・事前訪問シミュレーション	・事前訪問をシミュレーションする。
				学活	・	
	14	22日	月	総合	・事前訪問の直前指導 出発チェック	
	15			総合	・事前訪問	・事前訪問のまとめをする。
	16	26日	金	総合	・生き方講座 マナー講座 全学年 水田有美子氏 講座の感想文を書く	
	17					
	18			総合	・事業所別集会5回目 事前訪問のまとめ	・事前訪問で分かったことをまとめる。
	19	29日	月	総合	・学年集会 マナー向上について	・後期の学級委員長会でマナーについて話す。
	20	5日	月	学活	・学年集会	・当日の動きと緊急時の動きを理解する。
	21			総合	・事業所別集会6回目	・直前のシミュレーションをする。
	22			総合	・シミュレーションチェック	・修正点をチェックしてもらう。

11月		6日	火	授業	・授業参観 学級PTA	
	23	7日	水	総合	・学年集会（前日指導）	・マナー向上週間の反省をする。 ・代表班長から「体験に向けて決意の言葉」
	24	8日	木	～	職場体験学習	・[6] 体験学習の報告はその日に完成をめざす。
	29			総合	・体験学習の報告作成（当日完成）	・[7] 職場体験で学んだことを振り返る！
	30	9日	金	学活	・お礼の手紙作成	・手紙の書き方を理解する。
	31	12日	月	学活	・Myテーマのレポートづくり。（A4）	・レポートのまとめ方【例】 課題設定 課題設定の理由 課題の解決方法 課題の答 事前質問のまとめ 体験学習の流れと感想。 体験を終えた感想。
	32			総合	・Myテーマのレポートづくり。（A4）	
	33			総合	・Myテーマのレポートづくり。（A4）	
	34	16日	金	学活	・文集づくり 下書き	・文集の書き方（個人・Myテーマ）
	35			学活	・B紙作成 下書き	・B紙のまとめ方アドバイス
11月	36	19日	月	総合	・本発表原稿作成	・発表原稿の作り方アドバイス
	37	28日	水	午後	・生き方講座 「将来の夢」 豊田自動織機k kラグビー部総合監督 山田耕二 氏	
	38					
	39	30日	金	学活	・文集づくり 下書き	・文集の書き方（個人・Myテーマ）アドバイス
12月					・芸術鑑賞会（音楽）	
	40	3日	月	学活	・B紙完成 発表原稿完成	・発表のしかたをチェックする。
	41			総合	・発表練習	
				学活	・予備	
	42	7日	金	学活	・文集づくり 清書	
	43	10日	月	学活	・学級内で発表会 代表選出	・学級で代表班を選出する。
	44			総合	・学級内で発表会 代表選出	・学級で代表班を選出する。
	45	14日	金	学活	・文集づくり 清書	
	46	17日	月	学活	・学年集会 発表に向けて	・B紙を使って発表のしかたを知る。
1月	47	20日	木	集会	・学年集会で残りの4班の発表	
	48	14日	月	学活	・全校集会で2班が発表	
	49			総合	・進路適性検査	
	50			学活	・これまでを振り返る	

全校生徒の前で、学年代表として2班の発表のあと、「プロのひと言班」から「プロフェッショナルのひと言」の発表と、「学年の共通テーマ班」から「働く意義について」学年としてのまとめの発表をする。

この発表会もすべて、生徒が進める。

また、Myテーマは今年度から始めた取り組みなので、いい加減な気持ちで取り組んでいると、よい結果は出ないことを強調したい。意欲的でない生徒のモチベーションをあげるために、どんな指導の工夫が必要か、考えていきたい。

7 生き方講座 ～

(1) 生き方講座 - プロの生き方 - 2年生6講座 3年生6講座 計12名の講師を招いて



中京女子大附属幼稚園（園長）「楽しい毎日に」
・幼稚園での体験をもとに働くとは何かをお話された。



岩倉動物病院（院長）
「動物から見える人間の世界」
・人の社会の貧しさについてお話されました。



さわやか愛知（介護福祉士）
「福祉のオシゴト、介護のオシゴト」
・現場のリアルなお話をされました。



名古屋就職センター（代表）
「生き方・仕事・恋愛について」
・カウンセリングの経験をもとに話されました。



AIGスター生命（営業担当）
「こんな営業マンを待っている」
・楽しみながら成功する秘訣をお話されました。



名古屋グランパスエイト（広報担当）
「スポーツビジネス」
・グランパスエイトの経営についてお話されました。

(2) 生き方講座 - マナー講座 - 全体講座

INNER BEAUTY ACADEMY 水田有美子氏

元ミスユニバース 斉藤和子 氏

- ・マナーは相手のためにあるという話を聴いたり、実際にお辞儀の方法や歩き方などについて講習を受けました。



(3) 生き方講座 「夢をあきらめない」

豊田自動織機 山田耕二 氏

- ・西陵商業高校ラグビー部の監督だったとき、花園ラグビー場での終了間際の逆転劇で優勝した時のビデオを紹介しながら、夢をあきらめないで頑張ることの大切さを話されました。



キャリア教育「生き方講座」講座一覧表（２年生）の場合

１０月１７日（水）にキャリア教育「生き方講座」を実施します。受講講座は、下の６講座です。基本的に各講座１クラス６名ずつを定員とします。各クラスで割り振りをよろしくお願いします。

注意：岩倉動物院長の海老名先生の講座では、本物の犬を連れてきていただき、触れ合う機会があります。アレルギー等が心配な子は、選択しないようにお願いします。

番号	講師名	所 属	講 座 タ イ ト ル
		講 座 内 容	
1	志賀実樹也	名古屋就職センター（キャリア・カウンセラー）	生き方・進路・仕事・恋愛について
		・友だちとうまくつき合っていく方法。 ・恋愛や進路の選択で失敗しない方法。 ○ 様々な経験を経て、現在は、人のキラリとする宝物を見つけるキャリア・カウンセラーとして活躍しています。 ・恋愛と進路の意外な法則について ・お金持ちになるための原則 など	
2	海老名健司	エイアイジー・スター生命保険会社	お客さんはこんな営業マンを待っている～営業という仕事
		・お堅い職業といわれる銀行から、金融業界を変えたいという一念で、外資系生命保険会社へと転身。サービス産業就業率は、いまは６０％超。営業という仕事は、「ノルマがキツイ。ペコペコしなければならぬ」というマイナスイメージがありますが、その中で楽しみながら成功する秘訣を伝授します。成功・失敗談を織り交ぜて、できる人材になるには、...といったテーマに迫ります。	
3	加藤 英樹	岩倉動物病院長	動物から見えるニンゲンの世界
		・病院に来るたくさんのワンちゃん、ネコちゃんたちを見ていて、そこには人と人がつくる社会の貧しさが見えてきます。ペットは人間のおもちゃ？人と同じように、感情を持ち、心を持っています。日々、動物たちと接する中で感じたことをお話しします。	
		中京女子大学付属幼稚園	楽しい毎日に！

4	加藤 道子	・子どもたちの園での様子をビデオで見てもらったり、先生の様子をお話します。高校2年生の娘もいます。どんな質問にも答えるから聞いてね。大きな声で笑い、明るくパワフル。長年子どもたちを温かく見守り、育ててきました。	
5	丸山 冬芽	さわやか愛知（介護福祉士）	福祉のオシゴト、介護のオシゴト
		・福祉・介護のオシゴトと聞いて、何をイメージしますか？キタナイ・ツライ・ヤスイなんて思っていますか？いえいえそんなことはありません。介護と看護の違い、ヘルパーステーションとディサービスの違いなど、楽しく分かりやすくお話します。私が楽しければ、利用者さんもきっと楽しい！現場のリアルなお話を聞きに来てください。	
6	林 幹広	名古屋グランパスエイト（広報）	スポーツビジネス
		・小学校3年生よりサッカーを始め、プロサッカーを目指す少年だった。大学までサッカーを続け、大学在学中はスポーツ栄養学を学んだ。どうしてもJリーグのクラブで仕事がしたいと思い、大学院でスポーツビジネスを学び、卒業後、グランパスへ就職。ジュニア選手のコーチとして、2年間指導し、2004年からトップチームの広報へ異動。選手マネジメントや取材調整など、選手をサポートする仕事を担当。グランパスエイトがどのように運営されているか、林さんに聞いてみよう。	

8 事前学習

(1) ガイダンス

まず、最初に「総合的な学習の時間」では、何をやるのかをガイダンスした。以下はワークシートの紹介である。

総合的な時間の学習で何をやるの 総合的な学習の時間のテーマは、「夢や希望をもって生きる力を養う」 そのために 肯定的にものごとを考えよう！				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> ○ 将来の社会生活に必要な、基礎知識と技能を習得しよう。 ○ 自己の能力や適性を理解し、長所を伸ばそう。 ○ まわりの人とよい人間関係を保とう。 ○ 体験から学ぼう。 ○ 「読解のプロセス」を意識しよう。 </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; padding-left: 20px;"> 素敵な大人になろう！ 自分のよさ・適性を知ろう！ 周りの人のことも知ろう！ 自分の目で見て、感じて、自分で考えよう！ つねに課題解決の意識をもとう！ </td> </tr> </table>			○ 将来の社会生活に必要な、基礎知識と技能を習得しよう。 ○ 自己の能力や適性を理解し、長所を伸ばそう。 ○ まわりの人とよい人間関係を保とう。 ○ 体験から学ぼう。 ○ 「読解のプロセス」を意識しよう。	素敵な大人になろう！ 自分のよさ・適性を知ろう！ 周りの人のことも知ろう！ 自分の目で見て、感じて、自分で考えよう！ つねに課題解決の意識をもとう！
○ 将来の社会生活に必要な、基礎知識と技能を習得しよう。 ○ 自己の能力や適性を理解し、長所を伸ばそう。 ○ まわりの人とよい人間関係を保とう。 ○ 体験から学ぼう。 ○ 「読解のプロセス」を意識しよう。	素敵な大人になろう！ 自分のよさ・適性を知ろう！ 周りの人のことも知ろう！ 自分の目で見て、感じて、自分で考えよう！ つねに課題解決の意識をもとう！			
「読解のプロセス」を意識しよう。				
総合的な学習の時間の流れの例		ここをチェック！		
課題式をもつ	・体験的な活動を通じて、課題意識をもつ。	・課題は明確かな？		
情報の取り出し	・必要な情報を取り出したり、収集したりする。	・その情報は有効か？		
整理・分析・思考	・取り出した情報を整理・分析・思考する。	・課題に結びつくか？		
まとめ・表現	・気づきや意見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する	・情報の切り貼りはダメ。自分の言葉で、発表できるか？		
これからの人間力UPに欠かせないのは				

体験と言語力

自然体験、生活体験、社会体験、職業体験、…… + コミュニケーション

総合的な学習の時間で、みんなにつけてもらいたい力

- 自分で課題を見つけ、自分で学び、自分で考え、自分の責任をもって判断し、解決する力。
- 学び方と考え方を学び、課題解決に向けて、一生懸命努力する力。
- 自分の行き方を考えることができる力。

弥富中2年の総合的な学習の時間は「キャリア教育」

「外部の方との連携と体験を重視した「キャリア教育」を通して→→→→→生きる力をup!

- 外部の団体の方を講師に招いて、キャリア教育の講座を開く
- 事前訪問・職場体験・事後訪問
- ・ My テーマの追究
- ・ 読解のプロセスを重視した発表

総合的な学習の時間の3年間の見通し

1年 「地域社会に生きる」	2年 「地域文化とわたし」	3年 「国際社会とわたし」
・ オリエンテーション合宿 ・ 職場訪問 ・ 福祉実践教室 ・ 生き方講座・マナー講座	・ 野外学習 ・ 職業講話 ・ 職場体験 ・ 生き方講座・マナー講座	・ 修学旅行 ・ 体験入学・進路選択 ・ 生き方講座・マナー講座

続いて、職場体験のガイダンスをしました。最初の考え方を紹介する。

2年 「地域文化とわたし」 職場体験学習

ねらい 「自ら計画し、人と関係し、自ら行動することをと教して、望ましい勤労観・職業観を育む。」

職場体験学習を通して、自分や他者の適性や、よさについて考え、将来の進路選択に役立てる。
身近な人々の仕事を体験することで、働くことの意義や、職業に対する意識を高める。
テーマを設定し、実際に調べたり、体験したりすることにより、自ら行動し、課題解決できるようにする。
働く人々と接し、コミュニケーションを図り、人に対応に対する態度や言葉遣いを身に付けよう。

ここ数年で、職業を巡る環境は大きく変わってきました。

「リストラ」は、経営が行き詰まると、従業員が解雇されるというものです。それまで「終身雇用」に慣れてきた私たちにとって、人ごとではなくなってきました。また、給料も「年功序列」ではなく、仕事の結果に応じて支払われる「能力給」に変わりつつあります。そして、大企業でさえ、競争に負けて赤字に転落という厳しい時代になってきました。

一方、働く人たちにも変化が出てきました。会社の中に占める正社員の比率が下がってきたのです。身近では、「フリーター」と言って、一つの職業につかず、正社員として働かない人たちも増加しています。「ニート」といって、職業に就くことも放棄してしまった人たちもいます。就職しないのは、確かに責任が少なく、気楽です。

しかし、今はよくても、将来に渡り「安定した収入」と「生きがい」を得ることは難しいと思います。やはり、人生のできるだけ早い時期に、自分に合った職業を見つけることが理想であると思います。そのためにもこの職場体験学習で、仕事とは何かをほんの少しでも感じてほしいと思います。

本来ならば、3～5日間程度の職場体験学習をすれば、お手伝い感覚でなく、仕事のつらさに触れることもできると思いますが、本校での体験は1日です。短い体験を集中してやれるようにと、今年度の体験では、「My テーマ」設定し、一人一人がテーマ追究しながら、体験学習することとしました。

さらに、本番に向けて、1～2週間前に、1時間程度の「事前訪問」をすることにしました。事前訪問では、自己紹介をし、当日の仕事の内容を簡単に説明していただきます。そうすれば、当日は最初から仕事を体験す

ることができると思います。たとえ、それがお手伝い程度であっても、Myテーマを追究にとっては、何らかの答を出すと思います。

また、事後訪問も設定しました。お礼も兼ねて、Myテーマについてミニ発表できればと思います。この職場体験学習を通じて「働く」ということについて、いろいろな発見をしてきてほしいと思います。自分や友達の適性やよさを再発見するのもいいと思います。働く人たちとお話することにより、仕事に対する気持ちを知ることできるかもしれません。また、仕事を体験する中で、自分にとってうれしいこと、苦しいこと、つらいことを見つれたり感じたりするかもしれません。その一つ一つが、今後のあなたたちの「生き方」に生かしていくものになると思います。

(2) 訪問先決定までの手順

希望調査

事業所への依頼文書（第1次）発送

訪問可能な事業所と人数などの把握

訪問所の割り振り（クラスを越えて班づくり）

訪問所の決定（班と班長決定）

事業所へ正式依頼文書（第2次）発送

(3) 生徒の班編制

50班 性別、人数は訪問先の要望にあわせる。（クラスの枠を越える。）

班編成の基本 基本は4人 2人から5人もOK

- ・ 班 長.....総責任者 当日の行動の責任者 挨拶文・礼状などの責任者
- ・ 副班長.....班長の補佐 レポートのまとめの責任者
- ・ 学 習.....事前学習や質問事項の責任者
- ・ 記 録.....質疑の内容や話の記録責任者（写真撮影を含む）

(4) 希望調査(職種)

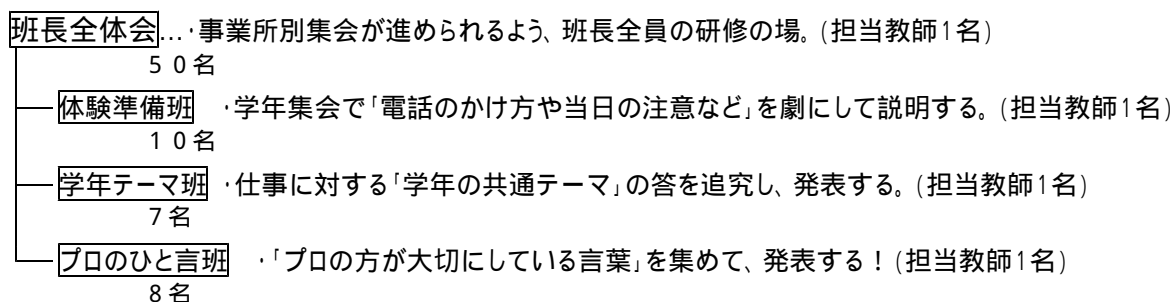
第3希望までとり、訪問先の数や引き受けてくれる人数により、班編成を調整した。職種13が増えた。

職 種	職場訪問先の例
1 事 務	市役所 郵便局
2 技術・技能	MMI トビシマ製作所 宇佐見自転車
3 介護...福祉	輪中の郷 福祉授産所 ディサービスセンター
4 保 育	南部・栄南・大藤・ひので・のびのび の各保育所
5 教 育	大藤・栄南・桜 の各小学校
6 医 療	きくら動物病院
7 サービス	弥富駅—蟹江駅—（改札などの接客）
8 保 安	南部消防署 蟹江警察
9 屋内作業	運送会社（男） 浜乙女（女）
10 屋外作業	弥富造園 海南子どもの国
11 動物（飼育・販売）	水産試験所 三輪養魚場 マルイ水産 ペットふれあい王国
12 店員（商品陳列など）	三浦家具店 スギヤマ薬局 かにえスポーツ
13 屋内作業・サービス	万寿園ルグラン パリジャン蟹江 きっちゃん鈴木 美容院 アオキスーパー富吉店 佐野屋OKマート やまひこ生鮮館 ヨシツヤ ファッションセンターしまむら ヤマナカパティ ユーストア十四山店 木村屋 大橋弁当
14 屋外作業・サービス	弥富丸善（GS） 宇佐美自転車モータース 尾張温泉

当日の日程の関係や時期によって、今年は受け入れ不可能なところ、新たに引き受けていただく所があった。

(5) 班長全体会と分科会

生徒自ら、計画し、実行し、関係する時間になるように、班長会を4分科会に分けて活動させた。



(6) 分科会の活動例

「プロのひと言班」の活動 「プロのひと言」を質問の一つにするよう、班長にプリントで依頼した。

「プロフェッショナルのひと言班」から各班へのお願い

「事業所が一番大切にしている言葉」を集め、それらをまとめてみると、働くことへの考え方や働く上で一番大切にしていることが見えてくるのではないかと思います。そこで、分かったことを発表できたらと思う。

忙しいときほど 笑顔で ヨシツヤ	まずは手を 洗いなさい！ マック	あなたの事業所 では、どんなひと 言なのだろうか？
----------------------------	----------------------------	---------------------------------

班長さんへお願いします！ 質問の中に加えてください！

Q. プロとして、大切にしている「ひと言」を教えてください！

「学年テーマ班」の活動と学年テーマ

学年共通のテーマを設定し、各班に質問に加えるように依頼があった。

「学年テーマ班」から各班へのお願い

職場体験学習の目的を考えながら、学年共通のテーマについて考えました。キーワードは、「仕事・働くこと」。ここを出発点にして、疑問に思うことをメンバーで出し合いました。「仕事って何？」「働くってどういうことなの？」「なぜ働くの？」「生活や収入のためだけに働くの？」分かっているかのように思っていたのに、よく分かっていないことが分かりました。そこで、職場体験学習を通して、『働くことの意義』を考えていくことになりました。

学年テーマ『働くことの意義って何だろう』

お願い このテーマを追究していくために、以下の質問を各事業所ごとにきてください。

なぜ働くのでしょうか。収入のため（生活）以外に働く理由を教えてください。

職業を選択されたときに、どのようなことを考えて選択されましたか。

仕事をしていてよかったなと思うときはどんなときですか。

(7) 班のテーマ (第1回～4回事業所別集会で検討・決定)

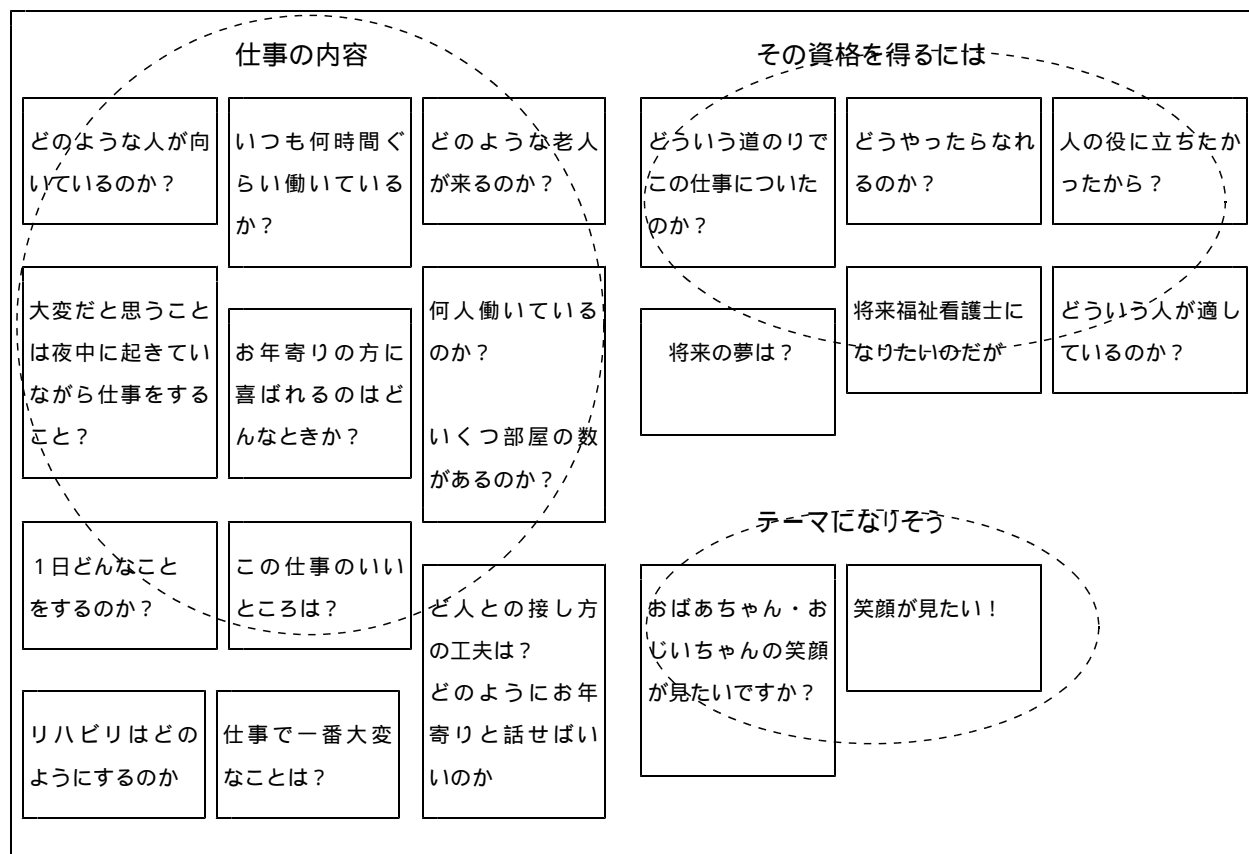
A～F組・J組の教室、家庭科室、生徒議会室と9箇所で開催した。

昨年度は、6つの教室だったので、担当する生徒が多くて大変だった。今年度は、各教室に最大でも25名程度なので、活動しやすい。

・KJ方を用いて

体験先から連想すること、興味のあること、調べてみたいこと、などをメモ用紙に書き、出尽くすまでメモ用紙を増やした。それらを並べて、仲間分けをしてグループ名をつけさせた。それをもとに、班としてみんなが調べたいテーマを「班のテーマ」とした。それらを一覧表に載せた。

「輪中の郷」の班テーマが決まるまで



この結果、「輪中の郷」の班テーマは、「おじいちゃん・おばあちゃんのお顔」に決定した。「笑顔」には、追究することが広がるように、含みをもたせた。

- ・ ただ単におじいちゃんやおばあちゃんが笑顔になればいいのか?辛いときにどうサポートするのか?
 - ・ 笑顔になってもらうために、どんな苦労があるのか、また、反対に働く人の喜びがあるのか?
- など、「笑顔」から、いろいろと調べることが広がるように、テーマを決定させた。

実際の班テーマ

A組～F組の各教室 家庭科室 生徒議会室 J組の 計 9カ所で活動

A 1	Yストア佐古木店A	Yストア佐古木店の裏側に密着	A 2	Yストア佐古木店B	Yストアの店員さんの苦労
A 3	アオキスパー富吉店A	お客を増やす方法	A 4	アオキスパー富吉店B	お客様が喜ぶお店づくり
A 5	海部南部消防署	消防士の仕事	B 1	栄南小学校	教師に必要な「○○」
B 2	栄南保育所	愛される保育士になるために	B 3	大橋弁当	愛されるための店づくりの工夫
B 4	大藤小学校A	子どもたちへの願い?	B 5	大藤小学校B	先生について知る
B 6	大藤保育所	子どもとふれあうには.....!	C 1	木村屋A	・働いてかく汗の量

C 2	木村屋 B	お客側から働く側になって	C 3	桜保育所	素敵な保育士になるためには
C 4	水産試験所	弥富市の水産技術を知ろう	C 5	ｽﾏｰﾔ薬局十四山店	1 日でお客のために何ができるか
C 6	デーサビスセンター	働く人やお年寄りの実になって	D 1	のびのび保育所	保育士の素顔inのびのび園
D 2	ひので保育所	園児とのコミュニケーション	D 3	ﾌｧｯｼｮﾝｾﾝﾀｰしまむら	しまむらの秘密を探れ！
D 4	佐野屋 OK マート	OK マートの人気のヒミツ	D 5	南部保育所 A	保育所の日
D 6	南部保育所 B	信頼される保育所にするには	E 1	宇佐美自転車	自転車の商売の秘密をさぐれ
E 2	万寿園・ルグラン	パティシエの仕事について	E 3	三浦屋家具店	三浦屋家具店伝統の仕事
E 4	弥富市役所	市民のために働く市役所	E 5	コスモ石油弥富丸善	お客に愛されるお店とは？
E 6	弥富郵便局 A	民営化後の郵便局の状況	E 7	弥富郵便局 B	郵便局で働く人の姿
F 1	ヤマナカパティ	食材の宝庫	F 2	やまひこ生鮮館	やまひこの店づくり
F 3	ｴｽﾄｱ十四山店	ユーストアの謎の謎までさぐる	F 4	ヨシツヤ A	商売繁盛の秘密
F 5	ヨシツヤ B	地域に愛される売り場作り	F 6	輪中の郷	おじいちゃんおばあちゃんの笑顔
議 1	MMI	クレーンができるまでのすべて	議 2	尾張温泉	温泉で働く人の苦労について
議 3	ペットふれあい王国	この仕事での苦労について	議 4	マルイ水産	マルイ水産の仕事について知る
議 5	三輪養魚場	これからの弥富の金魚の発展	議 6	弥富造園	これからの時代の庭づくり
家 1	海南子どもの国	従業員の仕事はどんなのだろう	家 2	蟹江警察署 A	警察組織の内側に迫る！！
家 3	蟹江警察署 B	蟹江警察のいろいろな仕事	家 4	蟹江スポーツ	自営業の難しさとお大変さ
家 5	きっちん鈴木	仕事での工夫や苦労を学ぶ	家 6	トビシマ製作所	物作りの秘訣を探る
家 7	パリジャン蟹江	笑顔をつくるパティシエ	J	授産所	作る喜びを探る

(8) My テーマ

一人一人が自分のこだわりで調べるのが、My テーマである。

	ヨシツヤ A	輪中の郷 ^{さと}
班のテーマ	・商売繁盛の秘密？	・おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔
My テーマ	・地産地消をしているか？ ・お客様へのサービスは？ ・お店を長く続けるにはどうしているか？ ・商品を売るための工夫 ・接客の工夫	・どんなことを考えながら仕事をしているか？ ・どういう道のりでこの仕事に就いたのか？ ・1 日の仕事の内容は？ ・人との接し方の工夫とは？ ・中学生でも、できることは？

	三輪養魚所	桜保育所
班のテーマ	・弥富の金魚をどう発展させていくのか？	・素敵な保育士になるためには
My テーマ	・金魚養殖をどう盛り上げていくのか？ ・金魚を買う人をどう喜ばせるのか？ ・弥富の金魚はどの種類に力を入れているのか	・保育士に必要な能力とは？ ・保育士になって 1 番大変と思ったときは？ ・子ども同士のケンカの対応方法とは？ ・子どもが 1 日楽しく過ごす方法とは？ ・働くことのお大変さとは？